



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中井戸 信英
 問合せ先責任者 (役職名)経理第一部長 (氏名)松田 康明 (TEL) (03)5166-2500
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	124,604	33.1	5,790	60.8	8,684	128.7	21,636	897.1
23年3月期第3四半期	93,589	2.6	3,601	13.1	3,798	△3.6	2,170	25.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 20,847百万円(—%) 23年3月期第3四半期 1,697百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	318 54	200 75
23年3月期第3四半期	43 44	43 36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	280,060	119,576	40.8
23年3月期	121,284	94,568	77.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 114,382百万円 23年3月期 94,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16 00	—	16 00	32 00
24年3月期	—	16 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	16 00	32 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,300	56.1	12,200	72.4	15,000	104.3	30,000	688.8	390 58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(CSK-VCサステナビリティ・ファンド投資事業組合、
CSKグループ投資案件管理ファンド投資事業組合)

除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	107,986,403株	23年3月期	54,291,447株
24年3月期3Q	4,330,243株	23年3月期	4,332,589株
24年3月期3Q	67,925,257株	23年3月期3Q	49,958,134株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年1月31日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、基調としては緩やかな回復過程にあったと考えられます。すなわち、国内需要においては、復興需要などを背景に内需関連産業の業況や個人消費等は底堅く推移いたしました。また、生産や輸出は回復基調を示しつつありました。ただし、円高の進行や海外景気の減速、加えてタイにおける自然災害の影響等により、その動きは弱いものでありました。

日本経済の先行きは、復興需要に加え、財政・金融政策等による景気浮揚効果への期待感はあるものの、欧州金融危機に端を発する円高の影響あるいは海外景気の下振れ懸念等を背景に不透明な状況にあります。当面の景気動向を注意深く見守る必要があると考えております。

当業界を取り巻く環境としては、東日本大震災からの復興が進みはじめ、企業が生産活動の遅れを取り戻す動きが続く中、顧客企業のIT投資は堅調に推移いたしました。BCP(事業継続計画)・ディザスタリーカバリー(災害復旧)対策の観点から、クラウド関連サービスあるいはデータセンター利用への関心が高まり、また、製造業を中心に事業のグローバル化の動きが加速する中、システムをグローバルレベルで一元管理するITシステムニーズ等が強まりつつあります。

一方、欧州経済の減速や高止まりする円相場の影響等により、輸出関連産業を中心として、当面の業況判断及び設備投資に対して慎重な見方が広がりつつある状況です。

こうした状況下、当社は、平成23年10月1日をもって株式会社C S K(以下「C S K」という。)と合併し、商号をS C S K株式会社として新たにスタートいたしました。合併後の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比33.1%増の124,604百万円となりました。合併による業容拡大の中、製造業ならびに生保・損保業向けビジネス等が順調に推移した結果であります。営業利益は、業容拡大に伴う増益効果に加え、売上総利益率の改善等により、前年同期比60.8%増の5,790百万円となりました。また、経常利益については、投資事業組合への投資に対する運用益の計上等もあり、前年同期比128.7%増の8,684百万円となりました。四半期純利益については、合併に伴う一部資産の処分等によって生じた減損損失1,700百万円を含む特別損失の計上があったものの、合併に伴い繰越欠損金をC S Kより引き継いだことによる繰延税金資産の計上等もあり、21,636百万円(前年同期は2,170百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ28,255百万円増加し、54,147百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は10,003百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,835百万円、減価償却費3,391百万円、売上債権の減少による資金の増加5,872百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少2,854百万円、法人税等の支払額4,289百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は8,315百万円となりました。

主な増加要因は、投資事業組合出資金の払戻による収入5,412百万円によるものであります。主な減少要因は、有形固定資産の取得1,457百万円、ソフトウェア等の無形固定資産の取得1,861百万円、投資有価証券の取得13,918百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は5,011百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による資金の減少2,515百万円、平成23年3月期期末配当金(1株当たり16円)803百万円及び平成24年3月期中間配当金(1株当たり16円)803百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間までの業績は概ね予想の範囲内であり、平成23年12月19日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

※当社グループの四半期業績の特性について

わが国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。このため、請負契約を除く売上高計上基準として、主として「検収基準」を採用している当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2・4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成23年10月1日の株式会社CSKとの合併に伴い、同社の子会社を連結の範囲に含めておりますが、この内、特定子会社に該当する会社は、CSK-VCサステナビリティ・ファンド投資事業組合、CSKグループ投資案件管理ファンド投資事業組合の2社です。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,003	21,787
受取手形及び売掛金	29,810	44,978
有価証券	10,211	1,271
商品及び製品	2,871	4,310
仕掛品	136	1,650
原材料及び貯蔵品	17	61
短期貸付金	0	17,294
預け金	9,688	33,660
その他	6,385	19,341
貸倒引当金	△3	△10,780
流動資産合計	65,122	133,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,208	24,198
土地	14,667	19,868
その他（純額）	4,003	7,257
有形固定資産合計	32,879	51,324
無形固定資産		
のれん	412	373
その他	5,874	8,435
無形固定資産合計	6,286	8,808
投資その他の資産		
投資有価証券	11,374	55,895
その他	5,759	30,801
貸倒引当金	△138	△344
投資その他の資産合計	16,995	86,351
固定資産合計	56,161	146,484
資産合計	121,284	280,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,163	12,045
1年内返済予定の長期借入金	—	10,015
未払法人税等	1,859	130
賞与引当金	1,829	2,408
役員賞与引当金	45	48
工事損失引当金	28	128
カード預り金	—	58,072
その他	9,508	25,493
流動負債合計	23,435	108,343
固定負債		
新株予約権付社債	—	35,000
長期借入金	—	12,360
退職給付引当金	105	233
役員退職慰労引当金	27	53
資産除去債務	887	1,341
その他	2,259	3,152
固定負債合計	3,280	52,141
負債合計	26,715	160,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	31,299	33,155
利益剰余金	50,373	69,559
自己株式	△8,717	△8,708
株主資本合計	94,108	115,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862	95
繰延ヘッジ損益	△81	△50
為替換算調整勘定	△727	△821
その他の包括利益累計額合計	52	△776
新株予約権	197	201
少数株主持分	209	4,992
純資産合計	94,568	119,576
負債純資産合計	121,284	280,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	93,589	124,604
売上原価	73,447	96,546
売上総利益	20,141	28,058
販売費及び一般管理費	16,540	22,267
営業利益	3,601	5,790
営業外収益		
受取利息	101	100
受取配当金	55	78
持分法による投資利益	76	143
投資事業組合運用益	—	2,640
カード退蔵益	—	278
その他	74	62
営業外収益合計	308	3,302
営業外費用		
支払利息	17	97
投資事業組合運用損	49	—
投資有価証券評価損	—	118
和解金	19	—
退職給付費用	—	65
その他	24	126
営業外費用合計	111	408
経常利益	3,798	8,684
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	508	17
関係会社株式売却益	—	101
会員権売却益	—	10
新株予約権戻入益	5	7
特別利益合計	514	141
特別損失		
固定資産除却損	67	56
固定資産売却損	3	1
減損損失	—	1,700
会員権売却損	—	0
会員権評価損	—	4
投資有価証券売却損	—	4
投資有価証券評価損	—	16
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
移転関連費用	470	—
合併関連費用	—	207
特別損失合計	583	1,991
税金等調整前四半期純利益	3,729	6,835
法人税、住民税及び事業税	868	159
法人税等調整額	719	△14,996
法人税等合計	1,588	△14,837
少数株主損益調整前四半期純利益	2,140	21,673
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△29	36
四半期純利益	2,170	21,636

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,140	21,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189	△742
繰延ヘッジ損益	△118	31
為替換算調整勘定	△129	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△25
その他の包括利益合計	△442	△825
四半期包括利益	1,697	20,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,727	20,812
少数株主に係る四半期包括利益	△29	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,729	6,835
減価償却費	2,559	3,391
のれん償却額	69	67
減損損失	—	1,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△69
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	16
本社移転関連費用引当金の増減額(△は減少)	△342	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	208	△849
固定資産除却損	67	56
固定資産売却損益(△は益)	3	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	—	135
投資有価証券売却損益(△は益)	△508	△14
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△101
持分法による投資損益(△は益)	△76	△143
株式報酬費用	50	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
受取利息及び受取配当金	△157	△178
投資事業組合運用損益(△は益)	49	△2,640
売上債権の増減額(△は増加)	3,061	5,872
たな卸資産の増減額(△は増加)	△933	147
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,351	△2,854
カード預り金の増減額(△は減少)	—	1,196
役員賞与の支払額	△78	△47
その他	2,285	1,453
小計	7,650	13,993
利息及び配当金の受取額	270	323
利息の支払額	△17	△24
法人税等の支払額	△1,825	△4,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,078	10,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△899
有価証券の売却及び償還による収入	—	805
有形固定資産の取得による支出	△3,411	△1,457
有形固定資産の売却による収入	1	1,604
無形固定資産の取得による支出	△1,378	△1,861
投資有価証券の取得による支出	△5	△13,918
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,762	1,875
投資事業組合出資金の払戻による収入	—	5,412
事業譲受による支出	△5	—
事業譲受による収入	—	169
敷金及び保証金の差入による支出	△1,326	△95
敷金及び保証金の回収による収入	1,154	55
資産除去債務の履行による支出	△269	—
その他	80	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,397	△8,315

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△2,515
リース債務の返済による支出	△590	△846
自己株式の取得による支出	△1	△6
自己株式の売却による収入	0	3
配当金の支払額	△1,606	△1,606
少数株主への配当金の支払額	—	△40
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,198	△5,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	385	△3,392
現金及び現金同等物の期首残高	26,202	25,892
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	31,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,588	54,147

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	流通・製造 ソリューション	金融・ERP ソリューション	グローバル ソリューション	プラット フォーム ソリューション	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	24,981	15,702	12,946	35,307	4,651	93,589	—	93,589
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	126	184	127	2,861	11	3,311	△3,311	—
計	25,108	15,886	13,074	38,169	4,662	96,901	△3,311	93,589
セグメント利益 又は損失(△)	813	△148	1,442	2,007	△111	4,004	△403	3,601

(注) 1 セグメント利益の調整額△403百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	流通・製造 ソリューション	金融・ERP ソリューション	グローバル ソリューション	プラット フォーム ソリューション	システム 開発	ITマネジメ ント	BPO	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	25,016	13,895	11,176	33,342	19,559	7,912	7,845	742
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,077	179	148	3,194	505	547	292	52
計	26,093	14,075	11,324	36,536	20,064	8,459	8,138	794
セグメント利益 又は損失(△)	556	△234	1,376	1,897	1,679	979	26	119

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	5,114	124,604	—	124,604
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3	6,001	△6,001	—
計	5,117	130,605	△6,001	124,604
セグメント利益 又は損失(△)	119	6,519	△729	5,790

(注) 1 セグメント利益の調整額△729百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成23年10月1日付にて、株式会社CSKと合併したことにより、前連結会計年度の末日と比べて、当第3四半期連結会計期間の資産の金額が著しく変動しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を一部変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額を表示しております。

また、平成23年10月1日付にて、株式会社CSKと合併したことにより、当第3四半期連結会計期間から「システム開発」、「ITマネジメント」、「BPO」及び「プリペイドカード」の各報告セグメントを追加しております。

なお、追加した4つのセグメントの業務内容等は以下のとおりであります。

- ・「システム開発」：コンサルティング、ソリューションサービス、システム・インテグレーションの提供を行う事業
- ・「ITマネジメント」：データセンターサービス、システム運用サービス、運用コンサルティング、IT基盤構築、インフラマネジメント、ネットワーク運用監視の提供を行う事業
- ・「BPO」：コンタクトセンターサービス、BPOサービス、検証サービス、ECフルフィルメントサービスなどの提供を行う事業
- ・「プリペイドカード」：プリペイドカードの発行・精算並びにカードシステムの開発・販売を行う事業

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月1日付にて、株式会社CSKと合併いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において、資本剰余金が1,857百万円増加し、利益剰余金が844百万円減少し、当第3四半期連結累計期間末において、資本剰余金は33,155百万円、利益剰余金は69,559百万円となっております。